

そよかぜだより

2020
7月号

そよかぜ歯科医院のURL
<http://soyokaze-dc.com>



七月(文月)

今年も早いもので上半期が終わり、下半期になりました。今年の上半期は、新型コロナウイルスにより、在宅勤務やソーシャルディスタンス、3密の回避といった新たな生活様式の取り組みがはじまりました。今後、感染拡大から身を守るためにも、それぞれの日常生活において、自身の生活に合った新しい生活様式を実践していき、感染予防を行っていきましょ。

夏期休暇のお知らせ

8月9日(日)・13日(木)・

14日(金)・15日(土)

休診とさせていただきます。

緊急の場合は、流山市休日
します。(9時~12時)
TEL 04-7155-3456



ビスフォスフェノール製剤と歯科的外科処置の基準

今回は、閉経後の女性が発症する骨粗鬆症や骨転移を有するがん患者様が薬物投与されるビスフォスフェノール製剤と歯科的治療について書いてみたいと思います。なぜ、このようなことを話題にするかというとビスフォスフェノール製剤を投与されている患者様が歯科的顎の骨の接する処置を行うことにより頻度は低いですすが治り難い顎骨の壊死が引き込まれることがあります。その頻度はビスフォスフェノール製剤を使用している患者様が歯科的抜歯をはじめとした外科処置で顎骨壊死に陥る頻度は0.01%程度です。しかしながら0.01%ではありません。

① ビスフォスフェノール製剤の投与方法

大きく分けてビスフォスフェノール製剤は内服(水で服用)するものと、医療機関で静脈内注射を行うものに分けられます。顎骨壊死に陥る頻度は圧倒的に静脈内注射した場合に顎骨壊死が起きるようです。すなわち、静脈内注射する場合にはもともと骨症状が多いためにも推測されます。

② ビスフォスフェノール製剤の投与期間

投与期間が長ければ長いほど顎骨壊死が起るリスクは高くなります。

③ 歯科的外科処置の種類について

お口の周りに関しての外科的処置は顎骨に触れる範囲が広ければ広いほど顎骨壊死の発生する頻度は高くなります。また、顎骨が露出する時間が長ければ長いほど顎骨壊死、骨髓炎の起こす頻度は高くなります。

そのため、歯科的外科処置を行う場合には内科医、整形外科医等と連携を取ったうえで骨代謝に影響がない程度で休薬をお願いする事もあります。併せて骨代謝が重度である場合には、総合病院の歯科口腔外科での処置になる場合もあります。閉経後の女性の多くが骨粗鬆症になる可能性を有しています。身体の定期チェックは素より、そのような方は骨密度、骨代謝に関しても興味を持っていただけたら幸いです。

土用の丑の日

7月21日は土用の丑の日です。なぜうなぎを食べようになったのか調べてみました。諸説があるものの、有力なのは平賀源内という蘭学者が、江戸時代にうなぎ屋の店主から商売について相談されたのが始まりのようです。昔からの言い伝えの中に、「土用の丑の日に“う”から始まる食べものを食べると夏バテ防止に役立つ」というものがあつたようで、その言い伝えを利用した平賀源内がうなぎ屋の店主への商売繁盛のアドバイスとして、「土用の丑の日にうなぎを食うべし」といった看板を出すように勧めたことで、「土用の丑の日」はうなぎを食べるという習慣が伝えられたといわれています。

院長のつぶやき

新型コロナウイルスも今年の2月ごろから日本でも発症者が出現し、はや半年になります。最近では、東京を中心に若者に多く、感染が認められるようになって、一日200名以上の新規感染者出ております。20歳代、30歳代の若者が多く感染しているようです。この若者からの家庭内感染が起き、高齢者の感染に今後波及しないことをお祈りします。高齢者に感染が進んだ場合、重症化しやすくなり、死亡者も増加することが考えられます。今後、薬の開発、ワクチンの開発が待たれるところです。やはりこのウイルスに関しては糖尿病をはじめとした生活習慣病などの基礎疾患をお持ちの方や免疫力が低下している方などが感染しやすいようです。歯周病も例外でなく、歯周病の原因細菌がこのウイルスを咽頭に付着しやすく、プロテアーゼを生成し、気管表面の粘膜を傷つけ、さらにウイルスを生着、繁殖しやすくし、肺炎に至り、ひどい場合には肺炎、呼吸困難になります。三密を避け、感染予防に徹しましょ。